

市民フォト鹿児島

*itizen
Photo
Magazine*

●特集 大型公園

No.44

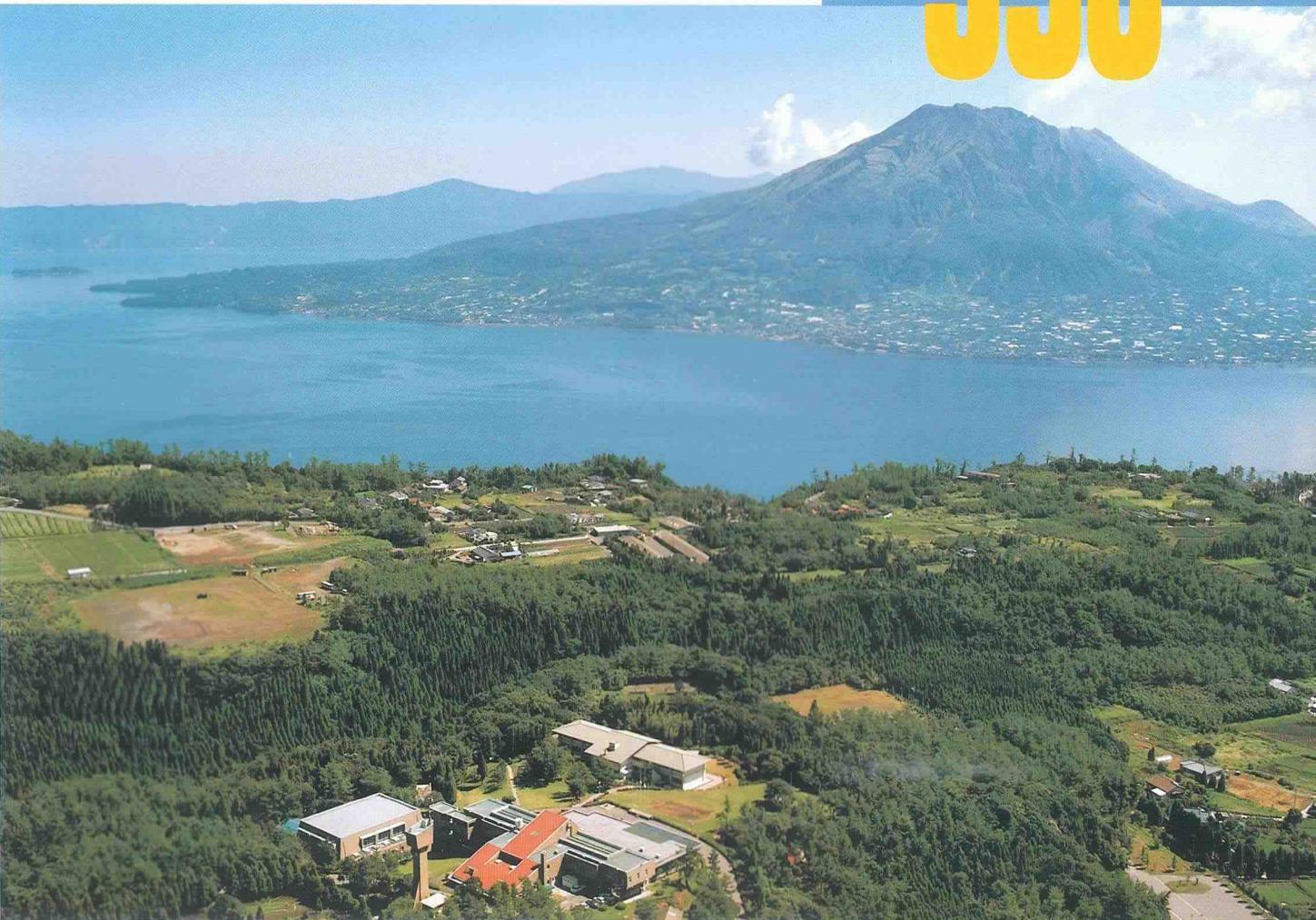
平成3年(1991年)
4月1日発行

バードウォッチングを楽しみながら、野鳥の宝庫城山を散策した。

緑の木立の中から聞こえてくる、かわいらしい野鳥たちのさえずりは、とても心地よく、心をなごませてくれる。

(人物は、ミス鹿児島の福永由佳里さん(左)と、友人の山形洋子さん)





わがまち高度350m P2

特集／大型公園 P3~9

クローズアップ（松澤隆司さん） P10~11

学校探訪（城南小学校） P12~14

ふるさとの史跡（島津家初代から五代の墓石塔 本立寺跡） P15

集えれば楽し（鹿児島県警察音楽隊カラーガード隊） P16~17

市民のひろば（健康をみんなで支えるまちづくり） P18~20

ハロー鹿児島（メロニー・リンドバーグさん） P21

あなたのフォトサロン（縁起初市） P22~23

こんにちは市長です P24~25

わたしの散歩道 P26~27

カメラトピックス P28~29

■ ウォッキング P30

市立美術館（オルフェ） P31

もくじ

わがまち

高度

350m

『少年自然の家上空から』

手前の深い緑に囲まれた施設は、鹿児島市立少年自然の家の本館や学習棟などである。

少年自然の家は、郷土の未来を担う活力ある「さつまっ子」を育成するための社会教育施設で、昭和50年7月に開所した。敷地面積は約157,000平方メートルと広く、集団宿泊生活ができる本館・学習棟のほか、キャンプ施設や農園などもあり、少年たちが自然の中でのびのびと野外活動や自然観察、勤労体験学習などをしている。

また、中央には青く波静かな錦江湾が横たわり、その向こうには雄大な鹿児島のシンボル桜島、そして遠くには、大隅の山々も望むことができる。

特集

大型公園

かごしま健康の森公園

県立吉野公園●

桜島

KAGOSHIMA CITY

錦江湾

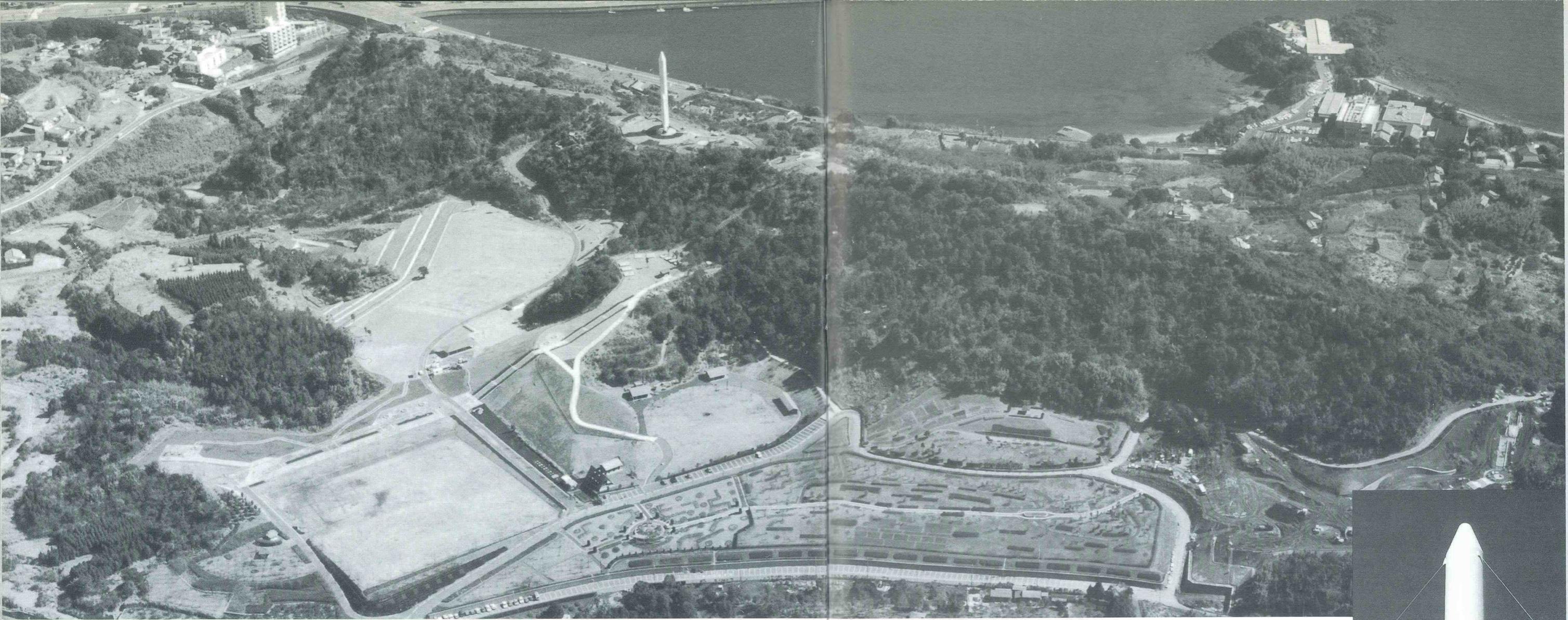
錦江湾公園

平川動物公園●

「アラやレッサーパンダで有名な平川動物公園に隣接し、白いロケットがシンボルの『錦江湾公園』。市制100周年記念事業として大迫町入佐（国道3号沿い、河頭中学校上の丘陵地）に、一年後のオープンに向けて着々と建設が進む『かごしま健康の森公園』。

今回の特集では、鹿児島市の南北に位置する自然を生かしたスケールの大きな公園、『錦江湾公園』と『かごしま健康の森公園』をご紹介します。

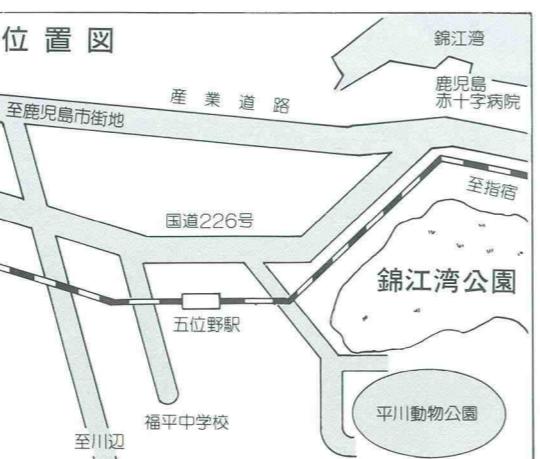
錦江湾公園



広さ456,000m²



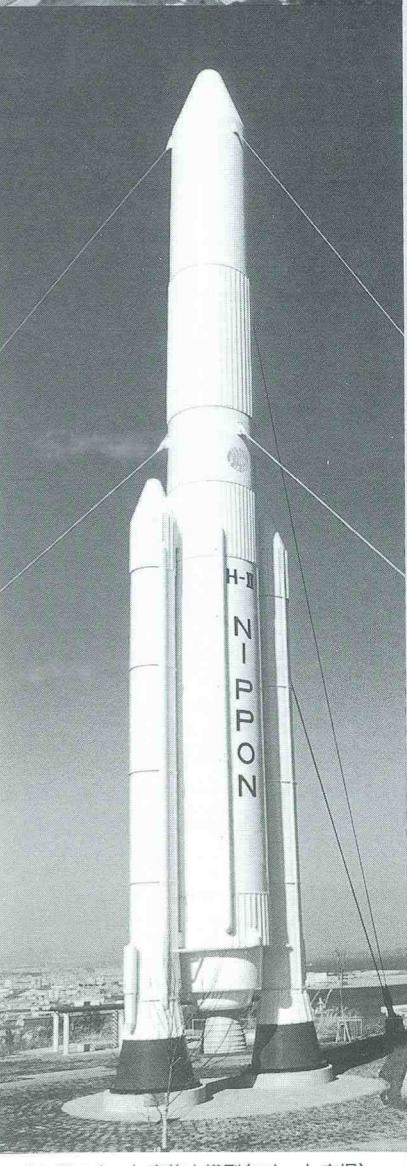
展望広場からの眺めは最高で、コバルトブルーの錦江湾や噴煙を上げる雄大な桜島はもちろん、天気の良い日には開聞岳や霧島の山々も望めます。



自然とふれあい、楽しめる公園

錦江湾公園には、自然に親しみ、楽しい憩いの場となるように、ゆったりとした見晴し広場や多目的広場のほか、子供から大人まで楽しめるフィールドアスレチック、春から秋にかけて四季咲きのバラ33種が咲くバラ園、ロケット広場、香りの散歩道、展望広場、キャンプ場（夏休み期間中）などが配置されています。

さわやかな風にふかれながら、広々とした公園の芝生に寝そべると、とても気持ちが良い。目の前に広がる豊かな緑と青い空、そしてゆっくりと流れる白い雲——日ごろの慌ただしさがうそのよう…。

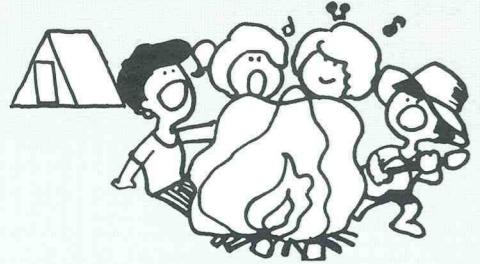


H-IIロケット実物大模型(ロケット広場)

青い空に向かってそびえ立つ、
白いロケットがシンボル。

花と緑と ロケットの公園

●キャンプ場案内



○開設期間 7月20日から8月31日まで

○申し込み方法

6月の最終日曜日から申し込み受け付け開始

※公園管理事務所で受け付け

①土曜・日曜日分については、6月の最終日曜日に次のとおり行います。

午前9時から午前9時30分まで、現地公園管理事務所で直接受け付け後、抽選

②平日分については、6月の最終日曜日に次のとおり行います。

午後1時から、午後5時まで（電話でも可）

③6月最終日曜日の翌日からは、午前8時30分から午後5時まで（電話でも可）

○テント使用料ー1張り一泊で、炊事用具使用料を含む

・5人用(500円)・12人用(1,200円)

○錦江湾公園キャンプ場管理事務所
☎61-9833（キャンプ場開設期間）

○鹿児島市役所公園緑化課
☎24-1111

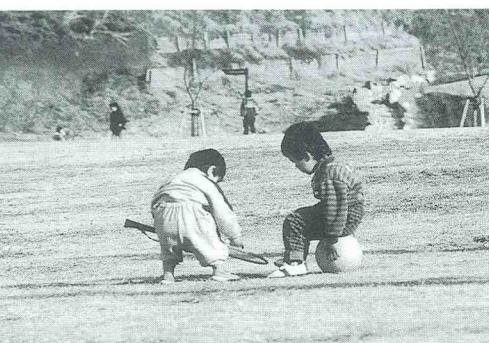
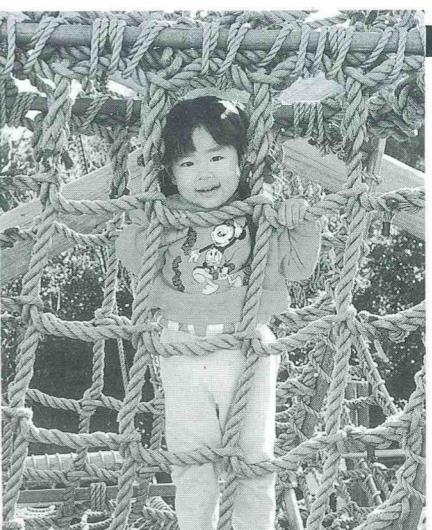
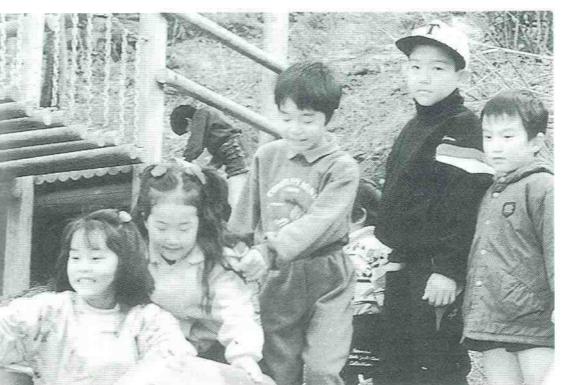
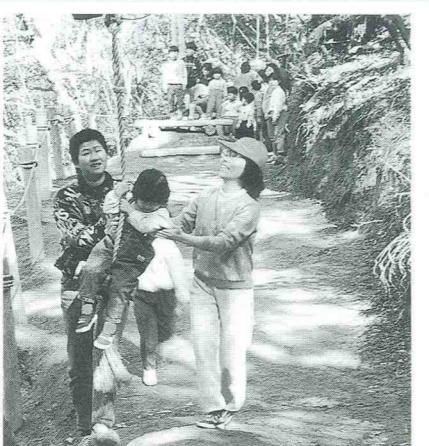
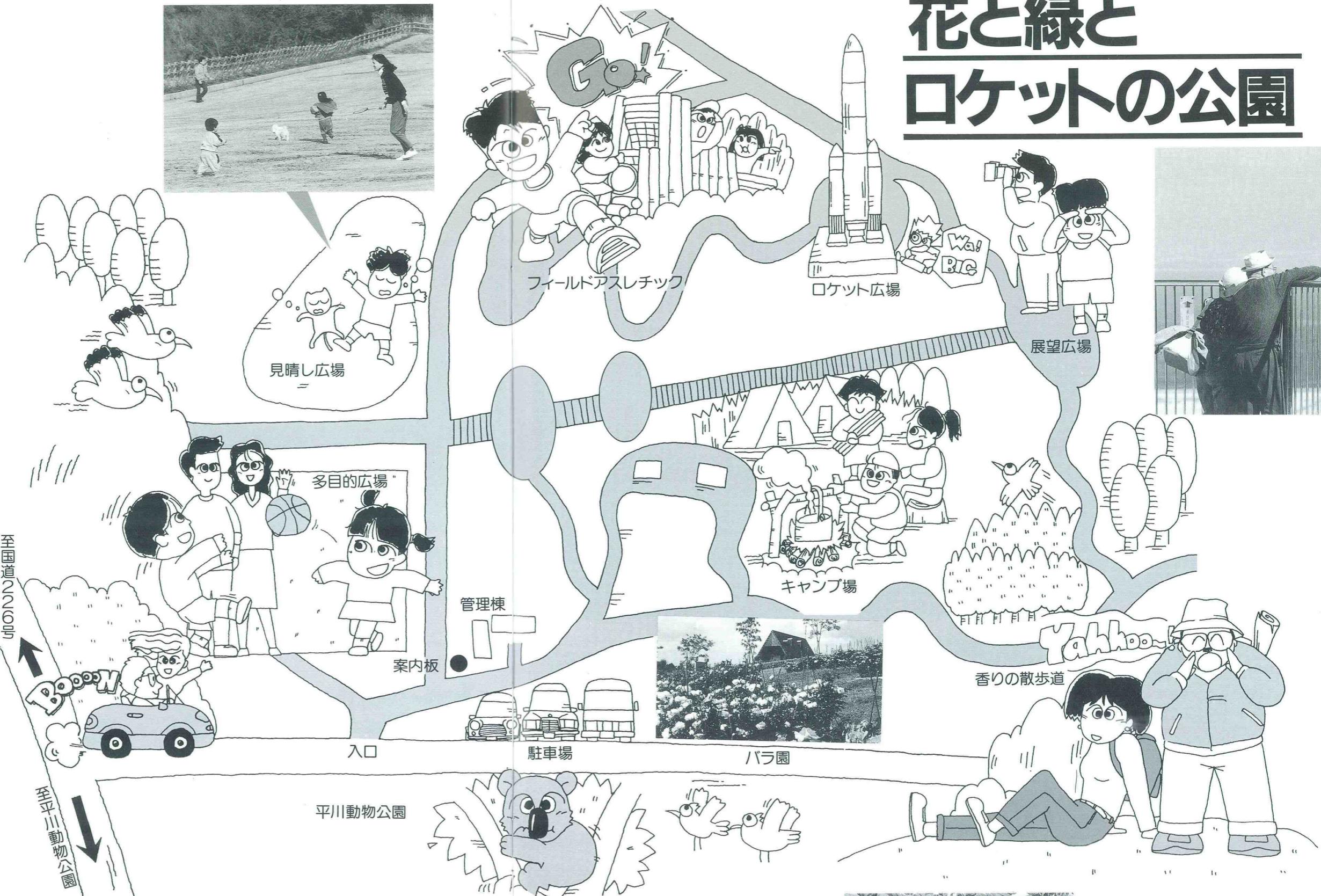
●交通のご案内●

JR九州（指宿・枕崎線）

- 西鹿児島駅 30分 五位野駅
 - 谷山駅 10分 五位野駅
- 五位野駅から歩いて約20分

鹿児島交通

- 2番線 天文館 47分 平川動物公園
 - 3番線 西鹿児島駅 48分 平川動物公園
- 平川動物公園から歩いて約10分



かごしま健康の森公園

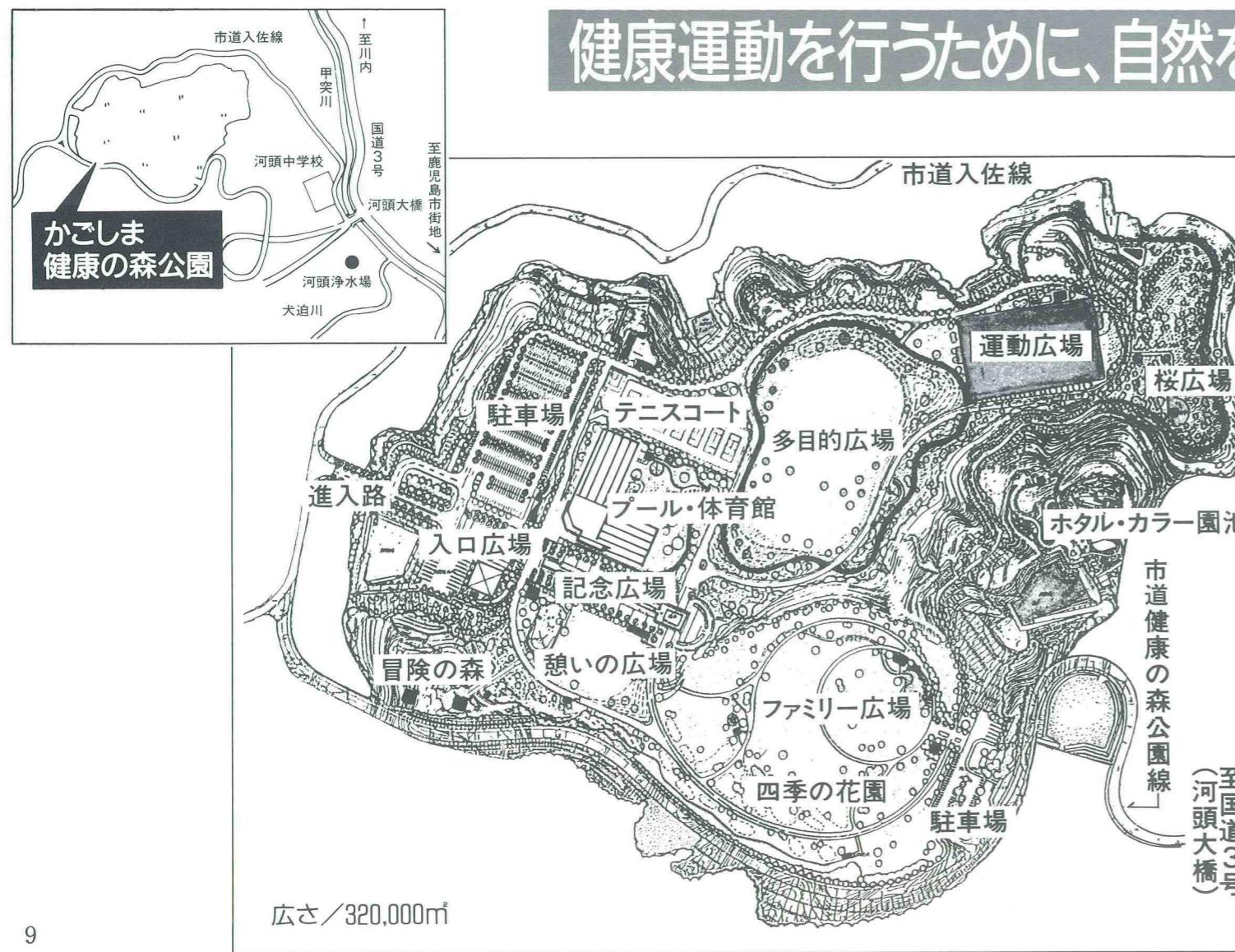
健康づくりの拠点として、平成4年春のオープンを目指す。



冒険の森から



健康運動を行うために、自然を生かした新しいタイプの公園です。



美しい自然と、きれいな空気の中でスポーツを楽しみ、そして、季節のうつろいを感じながら家族で森の道を散策する「かごしま健康の森公園」は、そんな人々の健康づくりが手軽にできる場として、自然の豊かさと公園としての機能の調和を大切にしながら、今までの公園とちがう新しいタイプの公園として、平成4年春に開園の予定です。



レクリエーションゾーン

家族そろってのレクリエーションやイベントが楽しめます。長大斜面には四季折々の花々が織りなす大パノラマ。谷側の東部には自然湧水を利用したホタル・カラー園も予定しています。

- 主要施設／憩いの広場・冒険の森・四季の花園・ファミリー広場・ホタル・カラー園



自然散策ゾーン

いま森林浴がブーム。敷地内の雜木林や竹林は、できるだけ自然を元の状態に保てるよう工夫し、人々に散策の場を提供します。

- 主要施設／自然探勝路・既存樹林・展望台



管理ゾーン

入口付近には、駐車場を配備。管理事務所前には、待ち合わせのスペースを設け、利用者への案内も行います。

- 主要施設／駐車場・管理事務所



シンボルゾーン

鹿児島のシンボル桜島の雄大な姿を背景にしたダイナミックな景観演出。シンボルゾーンの「記念広場」は、緑と水とカラフルな舗装で、心はずむ空間をつくりだします。

- 主要施設／記念広場・入口広場



健康運動施設ゾーン

温泉と太陽熱の自然エネルギーを利用したプールやコミュニティ一体育館、体力にあわせて走れるジョギングコース、それにソフトボール、サッカー等のできる運動広場があり、健康体力づくりが手軽にできます。

- 主要施設／多目的広場・ゲートボール場・テニスコート・プール・体育館



**スポーツの感動と喜びを多くの人に
与えられたことがうれしい。**

●第六十九回全国高校サッカー選手権大会で県勢としては初めて決勝戦まで勝ち進んだ鹿児島実業高校サッカー部監督

松澤 隆司さん

一月八日、「サッカーの甲子園」東京国立競技場には、鹿児島県勢として初めての決勝進出を果たした鹿児島イレブンの雄姿があつた。はつらつとしたそのプレーにサッカーファンのみならず、百八十万県民がテレビにくぎづけになり声援を送った。惜しくも延長戦の末敗れたが、県民に夢と感動を与えてくれたことは言うまでもない。

この鹿児島サッカー部に伝統と歴史を一つ一つ積み上げてきたのが

松澤監督だ。「とにかく、がむしゃらに突っ走ってきました」と監督生活二十六年間を振り返る。実際に会ってみると、テレビに映る陥しい表情とは違いとても気さくだが、さすがに威圧感がある。質問にもスポーツマンらしく歯切れの良い言葉が返ってくる。

サッカーとの出会いは中学二年の時。選手としては鹿児島商業時の



市長へ準優勝報告

代に県大会優勝の経験があるが、高校を卒業すると選手から指導者へと転身。昭和四十一年に鹿実サッカー部の監督に就いた。「いきなり、その年県大会で優勝したんですよ。初めて感動というのを味わいましてね……」今でもはっきり覚えていると言う言葉からはまるで優勝直後のインタビューのよう、その興奮ぶりが伝わってくる。九州大会では県外の強さに驚かされるが、持ち前の負けん気でサッカー一色の人生が始まつた。

「とにかく負けたくないの一心でした。三百六十五日、サッカーから離れる日は一日もなく、サッカー以外の趣味はつくる暇がないという。このサッカーにかける情

熱が今日の鹿実サッカー部を築き上げてきたのだろう。それに元鹿児島商業の寺田監督や鹿実野球部の久保監督など、校内外に良きライバルがいたことも刺激になつた。

それでも今年の鹿実は強かった。帝京、習志野、武南と関東の強豪を連破しての決勝進出。

大会が終わって、たくさんの手紙が届いた。八割はサッカーを知らない人で、そのうち六割は女性

だつた。スポーツに真剣に取り組む姿はプロ、アマを問わず観る人に感動を与える。「サッカー愛好者に恩返しができ、サッカーを知らぬ人にサッカー、そして斯たが、ゴールキーパー仁田尾のプレーには私も感動し、思わず声を出していました。優勝は逃したものの、好試合ができたという満足感がうかがえた。折しも鹿児島では、二〇〇二年のワールドカップサッカー誘致の運動が起つてゐる。鹿実の活躍が起爆剤となり、さらに盛り上がりってくれれば……」県サッカー協会の副理事長である松澤監督の願いだ。

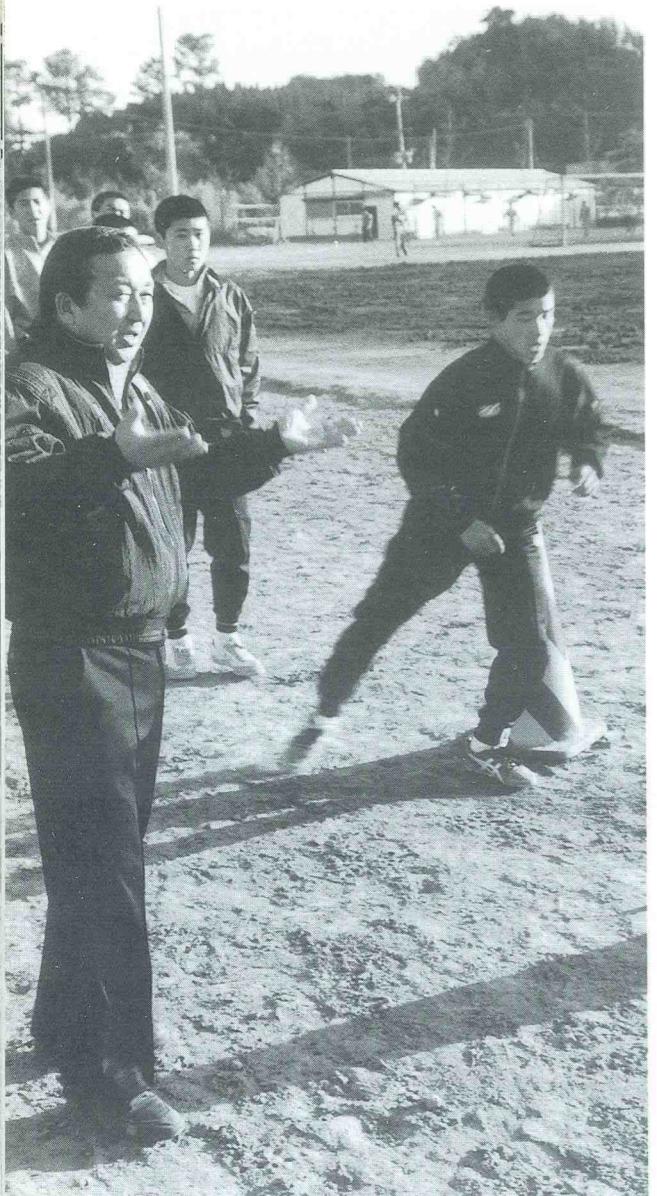
大会が終わって、そんな感じがした。

折しも、二月に行われた九州高校新人大会では、再び国見高校と決勝を戦い、一対一で両校優勝となり、幸先良いスタートを切つている。

文／堀ノ内正洋 鹿児島放送(KKB)記者

PROFILE

鹿児島市出身。光陽電子技術専門学校を昭和三十八年卒業。同三十九年から鹿児島実業高校に電気科教諭として勤務。四十一年から監督としてサッカー部の面倒をみてきた。現在、明和三丁目の自宅に奥さんと一緒に十三名のサッカー部員も家族と寝食を共にしている。五十歳。



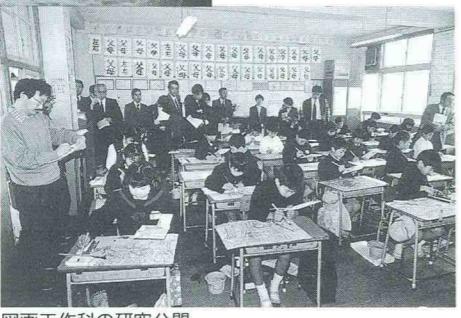
学校探訪



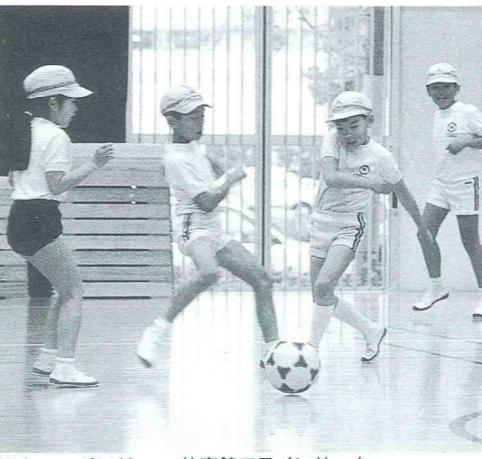
「急げ！落とすな」～秋季大運動会



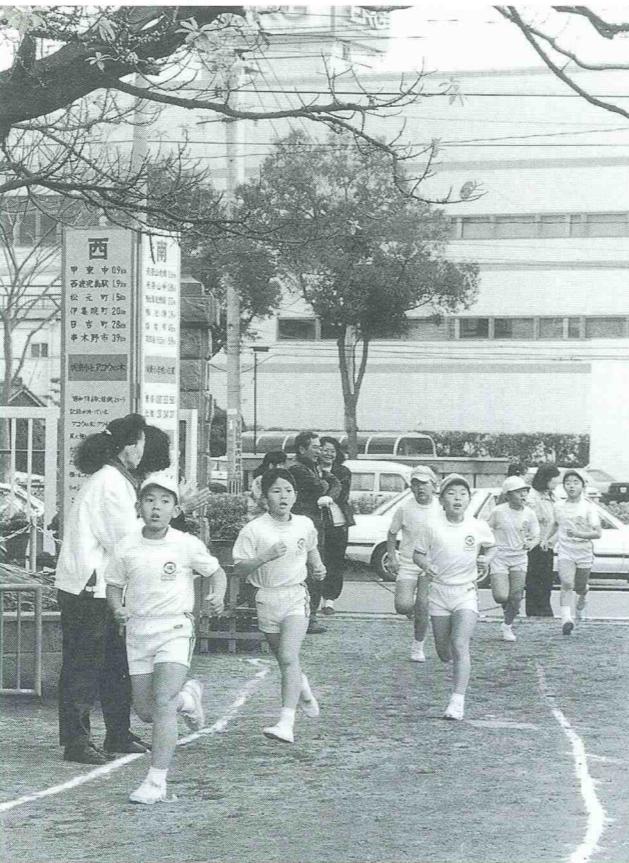
短時間で形をとらえる～金曜日の朝はクロッキー



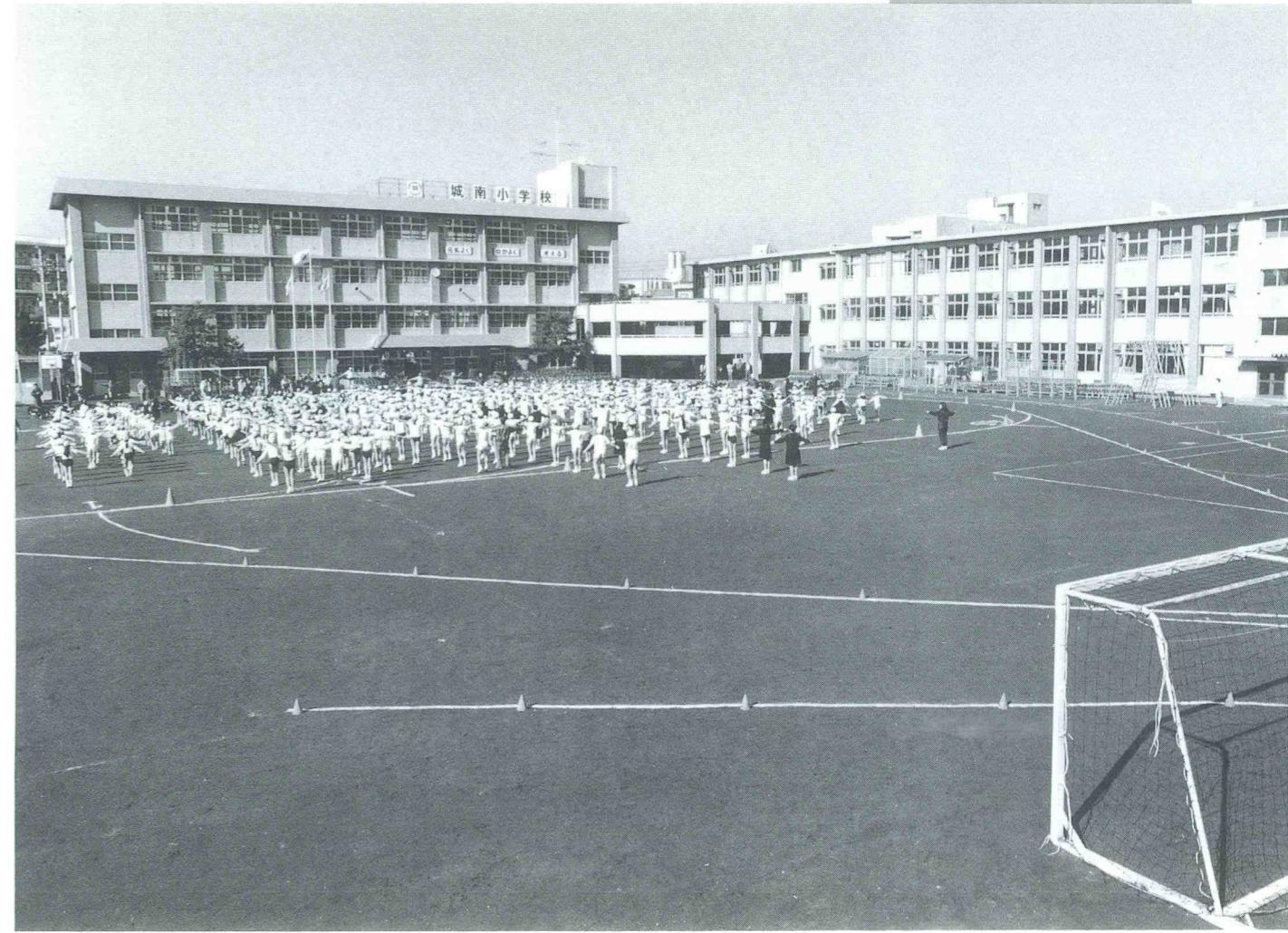
図画工作科の研究公開
～元年度・2年度に県研究協力校



「それっ、バスだ」～体育館でラインサッカー



「あこうの木」をくぐればゴール間近～持久走大会



私たちの学校

六年 長島 宏美

私たちの城南小学校は、昭和五年に創立され、昨年六十周年を迎えた。創立当時、洲崎尋常小学校とよんでいましたが、昭和二十二年に今の城南小学校となりました。

創立当時の学校は、鹿児島県一のきれいな学校として有名で、子供たちも一生けんめん勉強や運動に取り組んでいたそうです。そのころ植えられた「あこうの木」が、今はりっぱな大木となつて、毎朝正門で私たちを迎えてくれます。昭和四十年ごろには、千五百人をこえていた児童数も、今では四

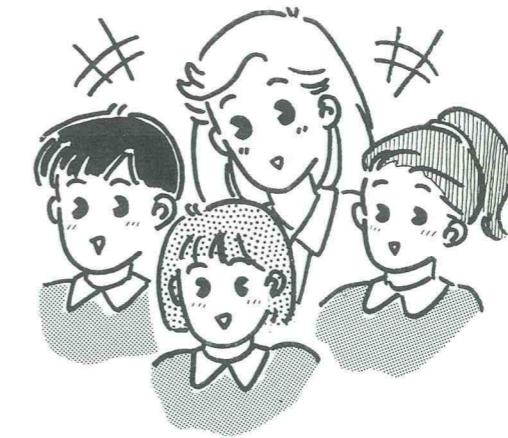
百十一人に減っていますが、そのころからの伝統として受けつがれているものに、青少年赤十字活動があります。私たちは、五月の登録式の時に「自ら気付き、考え、実行する」子供になろうというめて持ちました。一人一人が気を付けて校庭や廊下に落ちているごみを拾い、美しい学校になるよう努めています。また、おたがいが注意し合つて廊下の歩行の仕方なども気を付けています。これからも自分で考え、良いと思う事を実行できる人になる努力をしたいと思います。

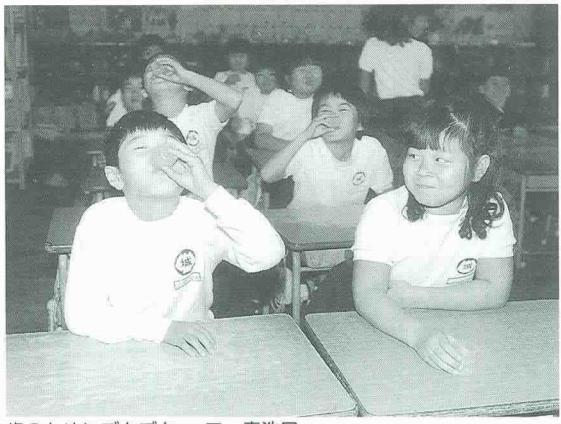
また、私たちの学校では、十五年間フッ素洗口に取り組んできています。毎週木曜日一分間ブクブクうがいをするのです。フッ素洗口のおかげで虫歯の子供が減り、歯科保健で全国表彰もいただきました。私たちは、校訓である「元気よく」「仲よく」「考える」子供を目指して、毎日運動や勉強にはげんでいます。これからも六十年の歴史と伝統にほこりを持ち、城南小学校を卒業された多くの先輩の方に負けないようにがんばっていきたいと思います。



城南小学校

- 創立…昭和5年
- 児童数…411人
- (平成3年3月1日現在)





歯のためにブクブク～フッ素洗口



給食後の歯みがきも欠かしません



全校児童で校区を美しく～社会参加活動



「おいしいよ！」～楽しい給食



心を合わせてハーモニー



ふるさとの

文政

島津家初代から
五代の墓石塔

本立寺跡

県文化財保護指導委員

西元肇

自動車のひしめく国道10号線

訪馬場通りの旧清水町電停から左
折した通りが本立寺馬場である。

百二十メートル行くと右側に、つ
たの生えた石垣に囲まれて本立寺
跡がある。すぐ北隣は、島津家の
氏神様のようにあがめられている。

諏訪神社（南方神社）の森である。
石門から入ると二本の大楠の下に
島津家初代忠久から五代までの古
びた墓石塔が並んでいる。

島津家初代から五代までの古
びた墓石塔が並んでいる。

市文化財に指定された。

本立寺は当初、五道院と呼ばれ
ていた。初代忠久の法名が得仏道、

二代忠時が道仏、三代久経が道忍、
四代忠宗が道義、五代貞久が道鑑、

と、五人とも「道」がつくところ
からである。鹿児島県史料旧記雜
錄にも、「島津家初代忠久は、鎌
倉で没し鹿児島五道院にまつられ

た」と記されている。

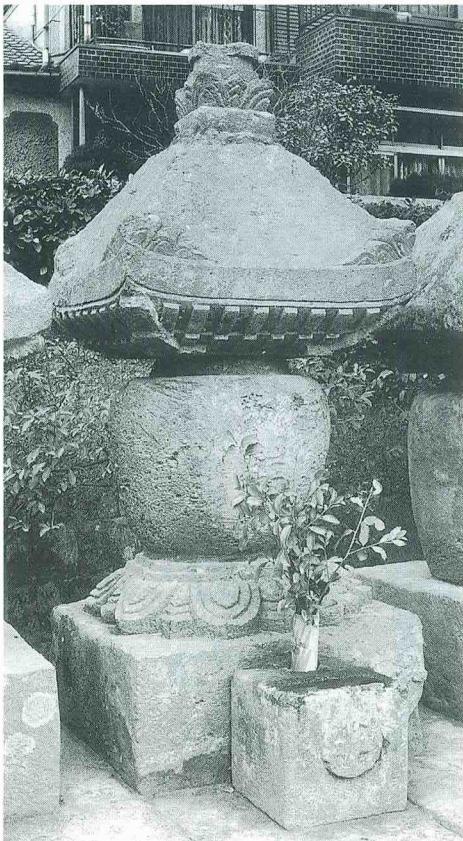
十九代光久の時、論語の「本た
ちて道生ず」から本立寺と改めら
れた。時宗淨光明寺の末寺で、
二十二代吉貴の時代には、寺門も
再建され、壮大な寺院となつた。

しかし、明治二年（一八六九）
の廢物毀釈で廃寺となつた。石塔

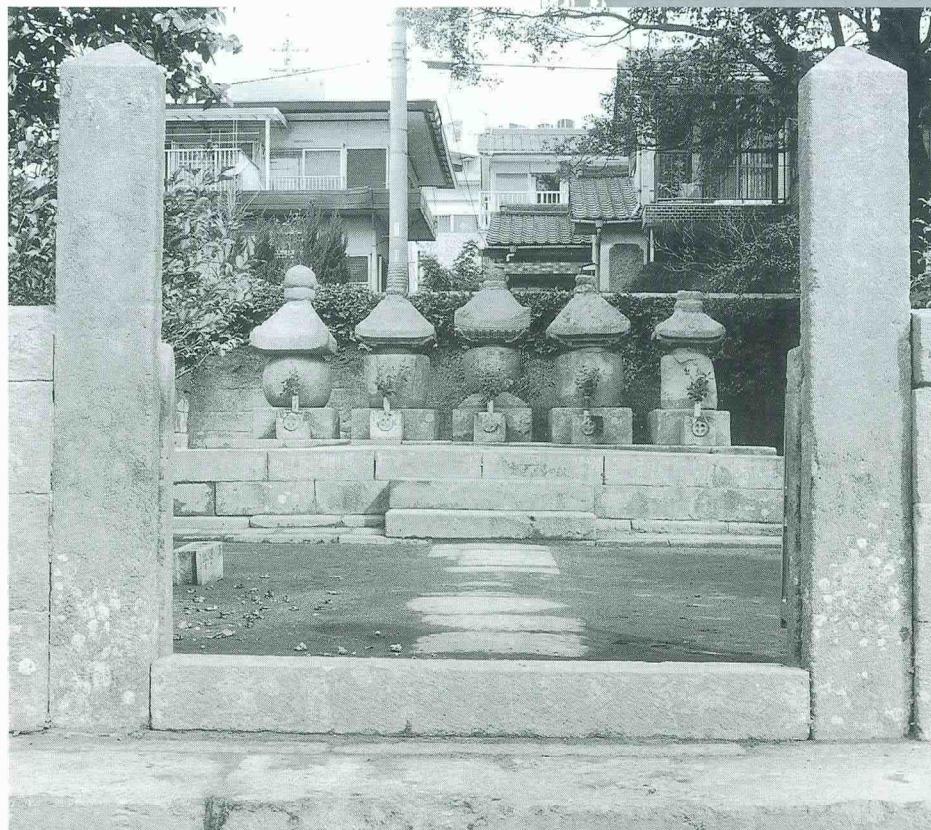
は、初代から四代までは宝塔、五
代は五輪塔である。平成二年三月、



本立寺馬場



島津家初代忠久の墓石塔



本立寺跡



集えば楽し



喜びと
ふれあいがあるから
がんばっています

鹿児島県警察音楽隊カラーガード隊

おはら祭などで市民にも親しまれている県警カラーガード隊。

鹿児島県警察音楽隊の華として

発足して、現在十二年目。

厳しいと思われるがちな警察のイメージアップの一役を担うが、きびきびした規律ある動きは、見る人にさわやかな感動を与えます。

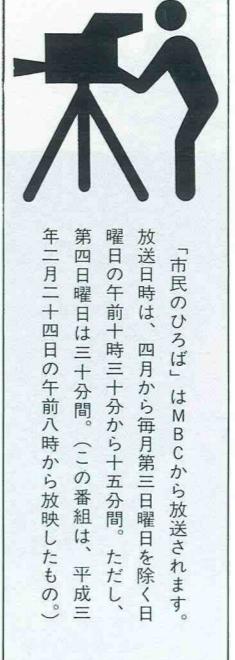
隊員は、現在九人。行事・大会への出場や練習などで年間約百五十日をカラーガード隊員として活動し、その他の日は県警本部や市内各署で事務や交通巡視員の仕事に従事しています。

メンバーの経験年数は、五年から八ヶ月。「曲目や人数によって

フォーメーションを毎回考えていくので大変です。まだまだ上手とは言えないが、毎回一生懸命やっています。」と音楽隊楽長の長瀬義人さん。

「養護学校での演奏会では、手足の不自由な子供たちが、体を動かして喜びを表してくれ、離島の小学校では、帰るときに子供たちが校歌で送ってくれました。各地の人々に喜んでもらい、素晴らしいふれあいができるから、また頑張ろうという気持ちにさせてくれます。」と語るリーダーの園田明子さんを中心に、『一糸乱れぬ』演技ができるようにとフラッグを持つ皆さんの表情には、緊張感の中にも女性の優しさが輝いてみました。

市民のひろば



「市民のひろば」はMBCから放送されます。
放送日時は、四月から毎月第三日曜日を除く日曜日の午前十時三十分から十五分間。ただし、第四回曜日は三十分間。(この番組は、平成三年二月二十四日の午前八時から放映したもの。)

出演者 (敬称略)
江頭モモヨ 田畠ミヤ子
北野百合子 飯田米子
畠中俊夫 松元公子
山下律男 前田操
赤崎義則 上野知子
上野市長 鹿児島市長
司会

『健康をみんなで支えるまちづくり』

市立病院の救命救急センター棟が完成し、第三次救急体制が整つた。しかし、健康をつくり出していくのは、何と言つても自分自身です。番組では、健康づくりに励んでいる市民の方々と市長が語り合います。

● 地域医療を支えている市立病院

上野 今日は、ゲストの皆さんと健康新づくりについて話し合つていただきたいと思います。

早速ですが、市長さん、わたしたちの健康を支えている施設の一つ、鹿児島市立病院は、これまで

半世紀にわたつて医療の中心的な役割を果たしているのですね。

市長 そうです。離島も含めた鹿児島県全体の中核医療センター的な役割を果たしています。

内容の充実はもちろん、おそらく、全国の自治体の中でも誇れるようないい處をうなづかせます。

実感しています。そして、長沙市

市立病院は、昭和十五年鹿児島

市立病院として産声をあげました。

そして、昭和五十一年には日本

で初めての五つ子ちゃんが誕生。

その後、戦火に遭いながらも地

域医療を支え続けてきました。

田畠 人というささやかなスタート。

田畠 児童が元気に育つ姿は、全国のマス

コミにも取り上げられ、その後の

市立病院は、昭和十五年鹿児島

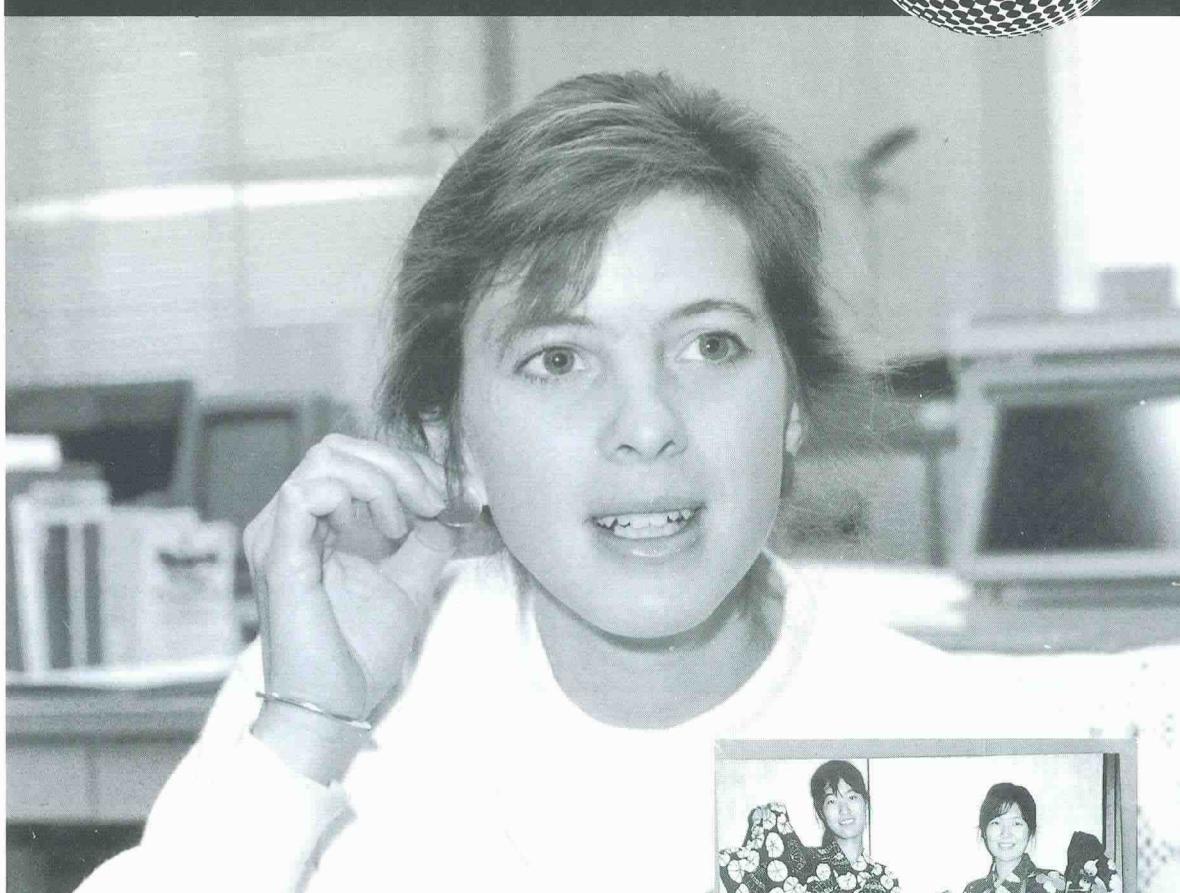
市立病院として産声をあげました。

田畠 田畠 人というささやかなスタート。

田畠

ハローー鹿児島

メロニー・リンドバーグさん（アメリカ合衆国）



ハ
ロ
ー
鹿
児
島



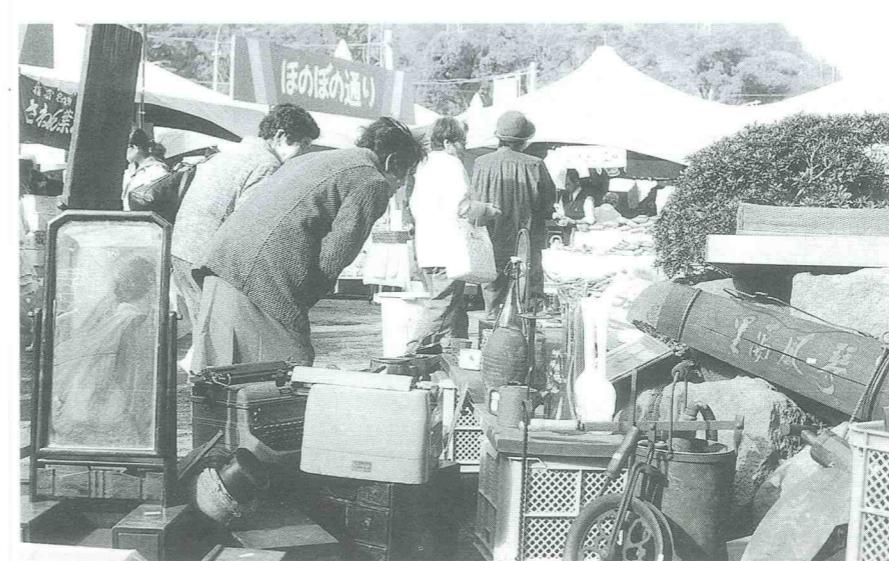
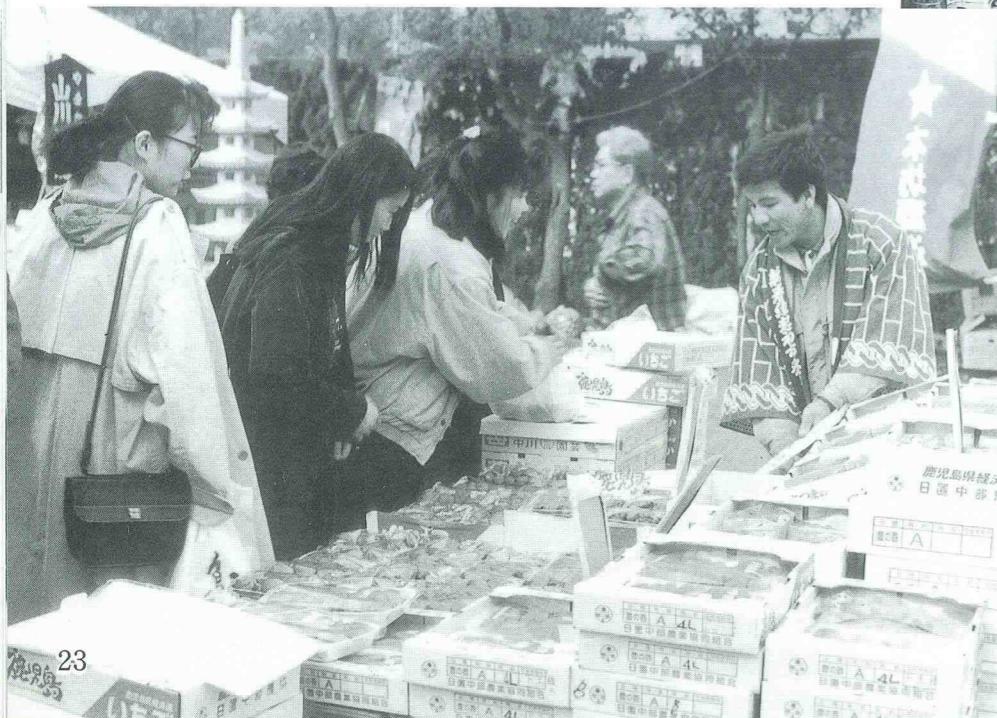
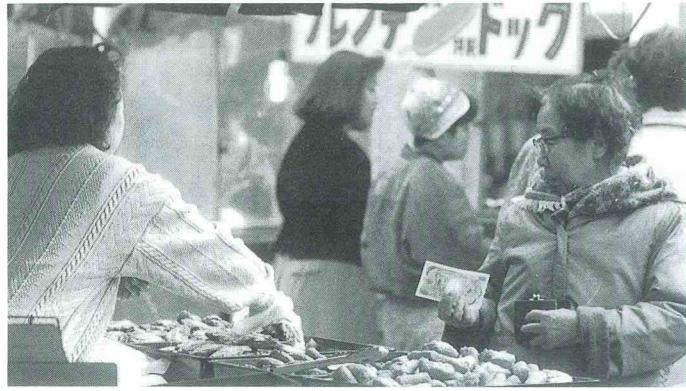
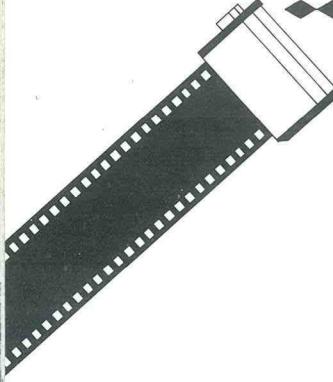
「好奇心」。それが彼女の原動力である。未知の国へのあこがれから日本に興味を持ち、日本で働きたいとの念願かなって、昨夏から鹿児島市の初めての国際交流アドバイザーとして活躍中だ。

国際交流を深めるには、「まず、人と人とのつながりを大切にすること」。ビッグイベントを開かなければ始まらないというのではなく、小さな人の輪から大きく広げてみてはどうか、と提言する。例えば彼女の主催する「インターナショナルコーヒーハウス」もその試みの一つで、少数の外国人と日本的に活動を続ける毎日である。

アドバイザーとしての仕事は、多岐にわたり、とまどうこともあるが、常に明るくふるまえるのは、何事もよいこととしてとらえる前向きな姿勢から。「今は失敗したことでも、自分にとつて、必ずプラスになっているはずです」。

本人がバランスよく気軽に話し合う場を提供している。外国人だから、と特別視せずに、心を開いて素直に意見を述べてほしいという。

「姉妹都市に人を派遣するのも大切なことです。派遣するだけでは終わるのではなく、派遣された人がその体験を発表したりして、生かす工夫が必要です」。一人がまた種を皆で育てていくべき、と考えている。



新春恒例の「縁起初市祭り」が二月九日から三月三日の土・日曜と祝日、鹿児島市の照国神社境内で行われた。

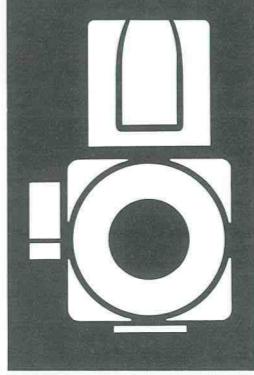
初市を飾るのぼりがなびき、威勢のよいアナウンスと軽快な音楽が響きわたる会場には、県内各地の民芸品や特産物の即売を中心に自動車やファミコンといったものまで四十以上の出店が軒を並べていた。

商品を熱心にのぞき込むお年寄り、会話が弾む家族連れ、おもちゃに夢中の子供たちなどたくさんの人出でにぎわい、また、ステージでの歌や踊り、バナナのたたき売りの熱気なども初市を盛り上げていた。

活気のあるこの雰囲気が来年もまた楽しみだ。

写真と文／福元 鶴

縁起初市



**あなたの
フォトサロン**

第8回 新春縁起初市祭り

平成3年
2月9日・10日・11日・16日・17日・23日・24日・3月2日・3日

主催: 新春縁起初市祭り実行委員会
後援: 日本交通公社鹿児島支店・公旅連鹿児島支部
協力: 照国神社

実行委員会では、歌・踊り・マジックショー等ステージを使用される方を募集しております。



こんにちは市長です

市移動図書館車 利用者との語らい

一月二十三日、市立図書館に市の移動図書館を利用している約七十人が集まり、「こんにちは市長です」が開かれました。



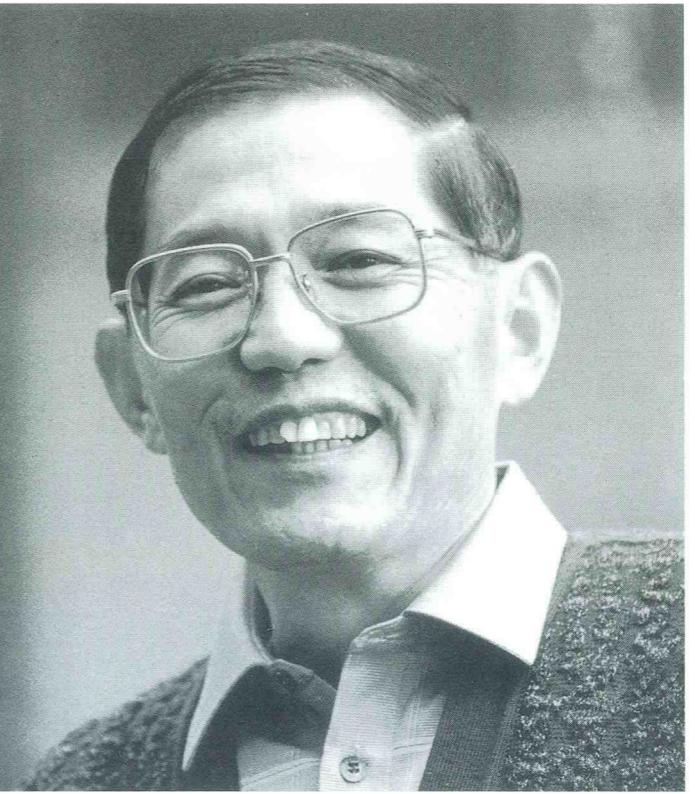
移動図書館は、市内の読書グループや市立図書館を利用しにくい地域を対象に移動図書館車が巡回し、本の貸し出しを行っているもので利用者から好評を得ています。語らいでは、「移動図書館を非常に楽しみにしている」、「ステーションでは若い子供連れも多く、子育てや仲間づくりとお互いの情報交換の場になっている」などの声が寄せられました。

これに対して、赤崎市長は「子供たちには小さい時から本好きにする環境づくりが大切ではないか。移動図書館がお互いのコミュニケーションや、年代を超えたふれあいの場になっていることはうれしい」と感想を述べました。

また、これからまちづくりについて、「市立図書館の分館建設を」、「移動図書館車の駐車場の確保を」、「図書館情報を知りたい」など多くの意見、提言がなされ、赤崎市長からはこれについての現在の状況や、今後の取組みなどについて説明がありました。

わたしの

散歩道

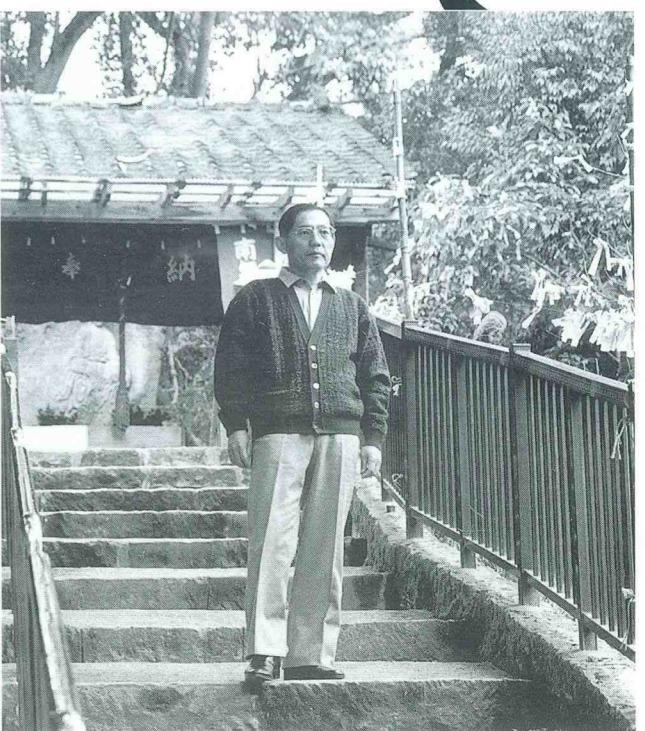


相手を思いやる
心が残る鹿児島が
大好きです

鹿児島短期大学学長

三木 靖

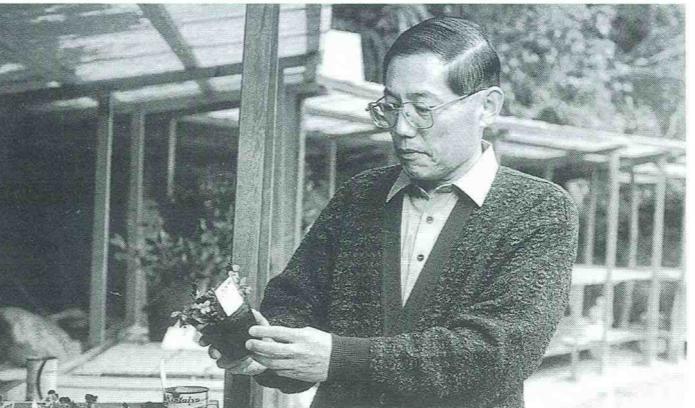
名突觀音像は、表情が柔和で、
体形もよく浮き出て美しいですね。
ここには、昔からよく来るんですよ。
一般には梅ヶ淵觀音という名前で知られています。
合格祈願が一杯ありますね。受験のほか就職、商売、安産など、なんでもご利益があるようです。
それたくさんの方々が訪れるようですが、ここは意外と、市外



の人にもよく知られているんですね。
甲突川の水がきれいになりますよ。

下流では水と親しめる護岸づくりが進んでいますね。私も子供をつれて来たりしますが、この辺りも早く整備が進み、安心して遊べるようになりました。私も子供をつれて来たりしますが、この辺りも早く整備が進み、安心して遊べるようになりました。私も子供をつれて来たりしますが、この辺りも早く整備が進み、安心して遊べるようになりました。

甲突川はまだ、相手のことを思って生活しているんだなという実感を受けて、それ以来すっかり鹿児島が好きになりましたね。



る川になつてほしいですね。

高速道路ができて、この辺も変わりましたね。伊敷方面への市電が廃止され、国道の車の流れも早くなりましたが、朝夕のラッシュ時など与次郎ヶ浜あたりへは、この鹿児島北インターから田上へ出た方が早いときがありますよ。

伊敷ニュータウンの写真を造成開始のときから撮っています。この十年ぐらい、鹿児島の城について研究していますので、シラスをどういうふうに切り取っていくのかなど、参考になるんですね。

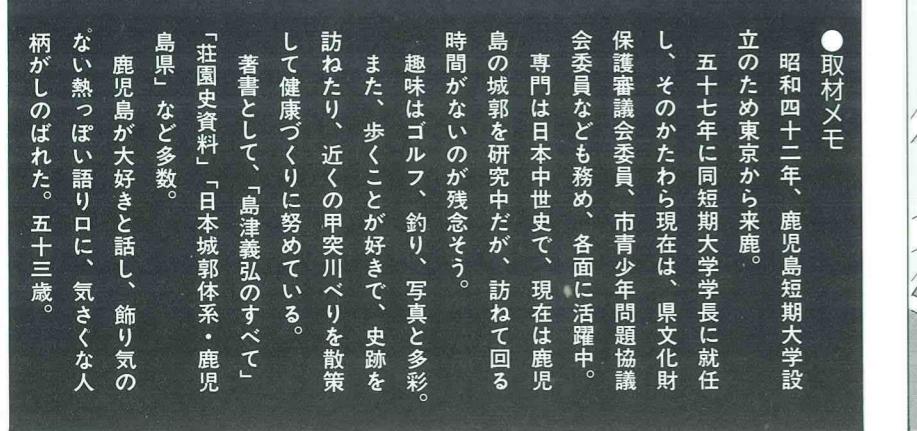
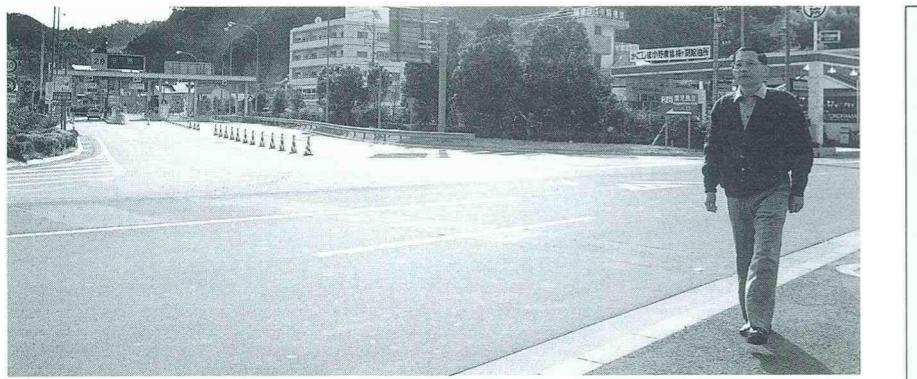
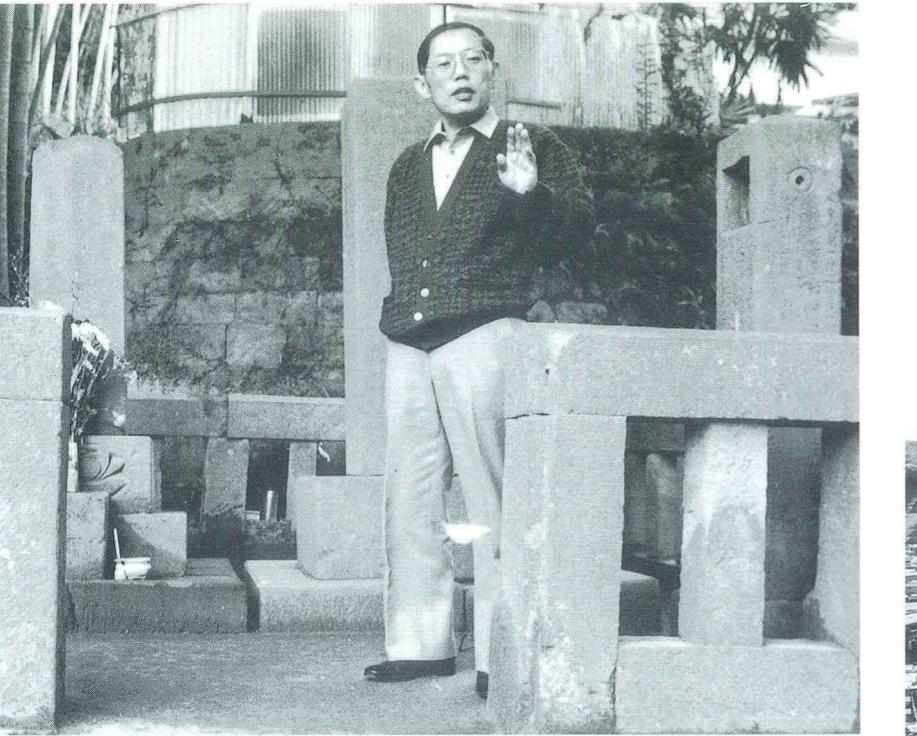
市内には、三十六の古い城跡がありますが、伊敷周辺にもたくさんあるんです。ぜひ見て回りたいですね。

この桂庵玄樹の墓は国の文化財に指定されていますが、ここはもともとは東帰庵という禅宗の寺があつたところなんです。

桂庵玄樹は、中国で朱子学を学び、日本で最初に教えた人で、一代島津忠昌の招きで鹿児島に来て、朱子学の本を日本で最初に出版する一方、多くの門人も育てました。その門人たちによって薩南学派という朱子学の学派もできました。桂庵玄樹は、武の国薩摩

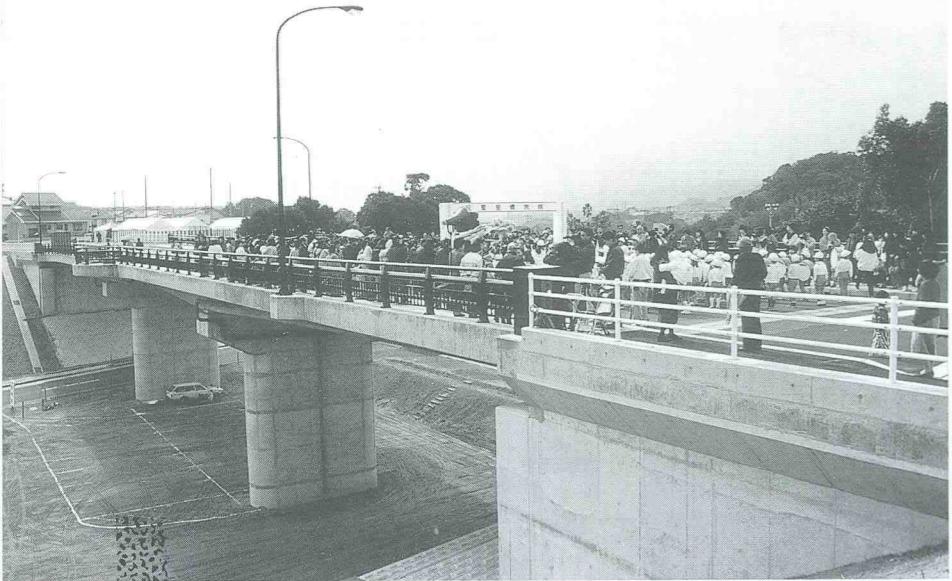
の文化の歴史に大きく貢献しているんですよ。

私は鹿児島短期大学に赴任することになって初めて鹿児島に来たのですが、西鹿児島駅に着いてバスに乗ろうとしたら、見も知らぬ人が荷物を持ってくれたんですよ。鹿児島ではまだ、相手のことを思って生活しているんだなという実感を受けて、それ以来すっかり鹿児島が好きになりましたね。



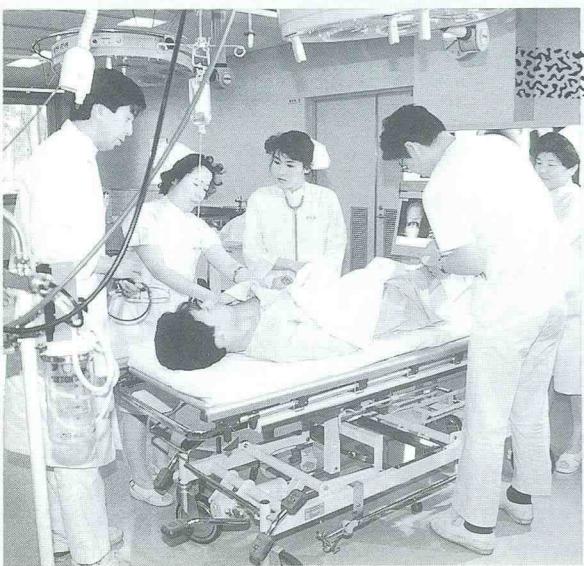
●取材メモ
昭和四十二年、鹿児島短期大学設立のため東京から来鹿。
五十七年に同短期大学学長に就任し、そのかたわら現在は、県文化財保護審議会委員、市青少年問題協議会委員なども務め、各方面に活躍中。
専門は日本中世史で、現在は鹿児島の城郭を研究中だが、訪ねて回る時間がないのが残念そう。
趣味はゴルフ、釣り、写真と多彩。
また、歩くことが好きで、史跡を訪ねたり、近くの甲突川べりを散策して健康づくりに努めている。
著書として、「島津義弘のすべて」、「莊園史資料」、「日本城郭体系・鹿児島県」など多数。
鹿児島が大好きと話し、飾り気のない熱っぽい語り口に、気さくな人柄がしのばれた。五十三歳。

カメラ トピックス



● 2月19日。「星座橋」が完成

星ヶ峯ニュータウンを東西に結ぶ「星座橋」の完成式が現地であり、赤崎市長が「交通機能はもとより、通学路、散策の道として、住民に憩いと潤いを与える場となってほしい」とあいさつ。このあと、地区住民らが渡り初めをして、このロマンチックな名前の橋の完成を祝いました。



● 2月19日

・救命救急センター棟を公開
平成元年9月から建設を進めていた市立病院の救命救急センター棟が完成し、20日の竣工記念式典を前に公開されました。最新の医療機器を導入した同センターは延べ5,088m²で地上7階、地下1階建て。県内の救命救急活動の中核として、医療体制の一層の充実を目指します。



● 2月27日。フォーラム「翔ぶが如く」鹿児島21の開催

このフォーラムは大河ドラマ「翔ぶが如く」で全国にPRされ、活気づいた鹿児島市の1層の飛躍と、全国に向けてのイメージセールスや新しい文化の発進基地を目指すための情報・提言を求めるもので、鹿児島市と東京を衛星通信で結んだ会場では、ゲストの方々などから本市の新しい時代への展望について貴重な提言が数多く寄せられました。



● 2月22日

・南部斎場（仮称）起工式
老朽化が進んでいた谷山火葬場に代わる南部斎場（仮称）の起工式が上福元町の建設予定地であります。同斎場は最新式の火葬炉8基を備え、北部斎場（小山田町）と同じ無煙、無臭、無公害の緑につつまれた近代施設で、業務開始は平成4年2月の予定です。

● 2月1日・エアテント完成で今年こそ優勝を！

天保山公園に設置したエアテント式屋内練習場のオープニングセレモニーでは、赤崎市長が「これで、今年のキャンプは雨が降っても大丈夫。必ず優勝を！」と熱い期待をこめてあいさつ。金田監督も「この素晴らしい施設でロッテ球団もしやにむに頑張ります。」と決意を述べました。



● 12月17日・待望の市立図書館・科学館が開館

九州で初の宇宙劇場（オムニマックス）やAVスペース、コンピューター管理された14万冊の蔵書など、開館前から話題を集めていた市立図書館・科学館の開館記念式典が各界から350人を招いて盛大におこなわれました。子供から大人まで楽しめる「知的の感動」をあなたも体験してみませんか。



● 1月6日・青空に放水のアーチ・消防出初め式

新春恒例の消防出初め式が消防局、団員約千2百人の参加のもと甲突川河畔の市民広場で行われました。きびきびとしたレンジャー演技や放水演習などに、集まった3千人の市民は、災害防止への心構えをあらたにしていました。



● 1月11日・万一に備えて桜島防災訓練

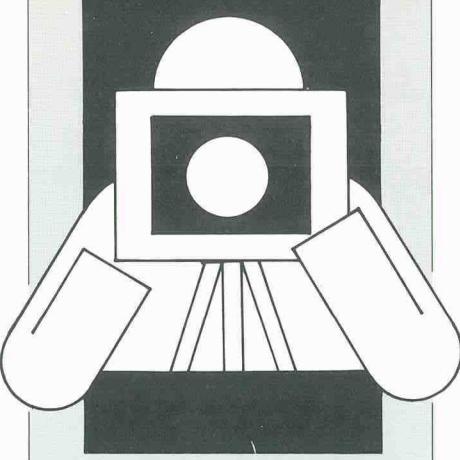
ときおり冷たい雨が降る、はだ寒い天候のなか、大爆発に備えた桜島火山爆発総合防災訓練が桜島町を主会場に5千人が参加して行われました。交通事故を想定した消火・救助訓練では、鹿児島中央消防署員が迅速に人を救出。参加者に事故の怖さと訓練の大切さをアピールしました。



「疲れたよ／お父さん」「がんばれ、がんばれ！」
(市民生き生き歩こう大会で)

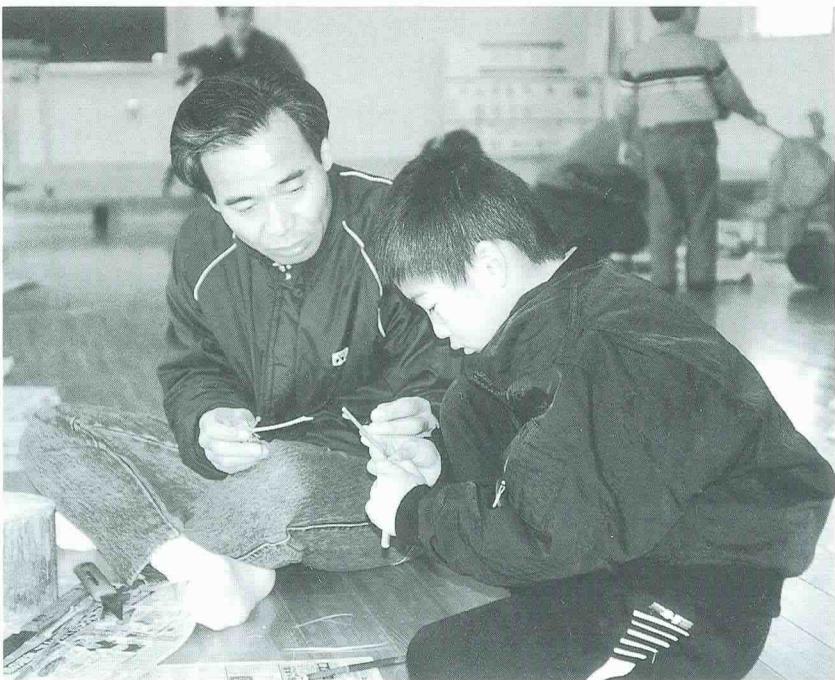


「森の中で木こりはおおかみに…」
(市立図書館で)

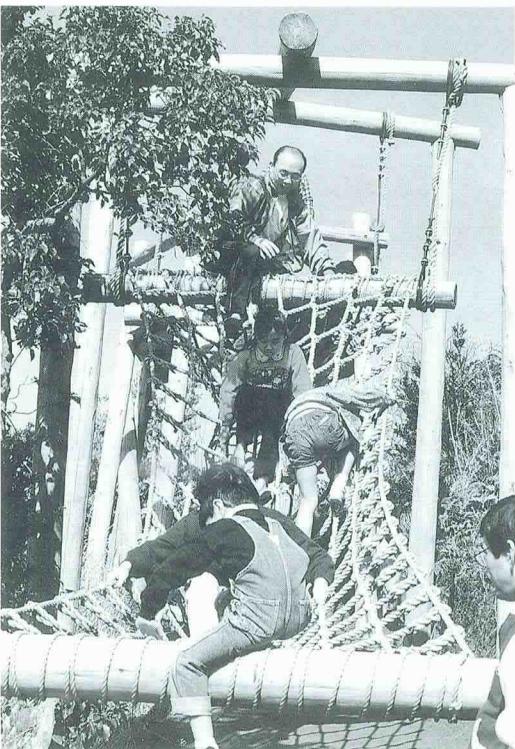


カメラ ウォッチング

親子のふれあい



「ここはこうしないとな…」(少年自然の家で)



「気をつけて下りなさいよ…」(錦江湾公園で)



「あっ、からぶりだ…」(錦江湾公園で)

▼なお、本誌は次号から皆様に一層楽しく見ていただくために、カラー面を大幅に増やし、内容やレイアウトも新たにしてお届けする予定です。紹介いたします。

▼今回の特集では、花と緑とロケットで親しまれている錦江湾公園と、来年の春の開園を目指し建設が進められているかごしま健康の森公園をご協力をいただきながら努力してまいります。

市ではこの二月、二十一世紀へつなぐ新たなまちづくりの第三次総合計画を策定、今年はそのスタートの年にあります。都市像に掲げる「潤いと活力に満ちた、南の拠点都市・鹿児島」の実現のため市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら努力してまいります。

▼鹿児島の春を告げる本市が始まり、街も日ごとに暖かくなつて春本番を迎えました。家族で戸外へ出かけ春を満喫して見ませんか。

市立美術館

「オルフェ」(1959年)

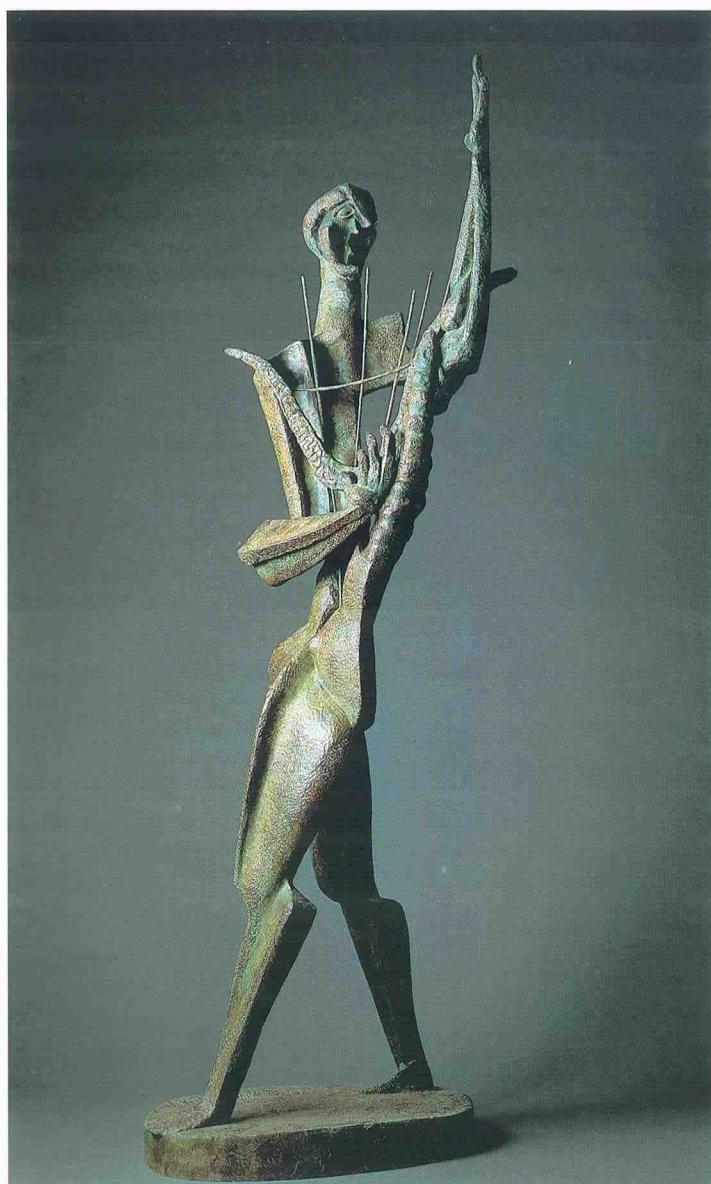
サイズ(275cm×90cm×65cm)ブロンズ

オシップ・ザッキン(1890年～1967年)

〈作者〉ロシアのヴィテプスクに生まれる。

1907年にロンドン、1909年にはパリに移り、一時、エコール・デ・ボザール（美術学校）に学ぶ。アフリカのニグロ彫刻やピカソらのキュービズムの影響を受けながらも、ロシアの大地に根ざした感性をもとに、独自の造形表現を生み出した。世界各地で展覧会も開催し、積極的な美術活動を行った。

1931年、二科会在外会員となり、日本の文化と芸術に深く関わっている。作品も各国の美術館に収蔵されるようになる。1950年、ベニス・ビエンナーレで彫刻大賞、翌年にはレジョン・ドヌール勲章を受ける。生まれたロシアには帰ることもなく1967年、パリで逝去。1982年、300点近い作品がモンパルナスの家・土地とともにパリ市に遺贈され、パリ市立ザッキン美術館として開館されている。



市立美術館
学芸係長 立元史郎
△解説△ オシップ・ザッキンの豊かな感性と詩情は、生地ロシア・スマレンスク地方の、森や野原や小川に培われたものでした。

ある日、彼がたき火をしているとき、薪の姿が人間のシルエットに見え、それが大またで歩いてくるように思われて、たいへん感動したと話しています。二本の枝はトルソ（胴体）を表し、堅琴のようであつたと。こうして彼の代表作「オルフェ」は生まれました。

オルフェは、ギリシャ神話に登場する詩人で堅琴の名手です。毒蛇にかまれて死んだ愛妻エウリュディケを地上に連れ戻そうと冥界の王ブルートを説き伏せます。地上に戻るまで後ろの妻を振り返つてはならないという約束を破つたために彼女は永遠に姿を消してしまいます。

ザッキンは、深い精神性と特有な造形性をうたいあげており、人間の喜びや苦悩を、激しく大胆なフォルムによつて表現しています。



新入学児を
交通事故から
守りましょう。



家庭での安全指導のポイント

- 子供といっしょに歩くときは、親は自ら手本を示し、その場その場で具体的な注意を与え、繰り返し指導しましょう。
- 学校で通学路が決められているときは、必ずその通学路を通って、学校に行き帰りするように指導しましょう。
- 朝の出掛けは、あわてさせないようにしましょう。そのためには、時間割などは前夜にきちんとしておき習慣をつけさせましょう。
- 通学時の服装は、動きやすいように、できるだけ軽快な服装にさせてあげましょう。また、手に荷物をもたせないようにしましょう。